

## 和歌山県公共工事入札監視委員会第53回定例会議 議事概要

開催日及び場所	平成26年12月2日(火) 13:30~15:30 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	山西陽裕(委員長) 遠藤桂介(副委員長) 木下正美 津村雅枝 堀田祐三子 三岩敬孝	
審議対象期間	平成26年7月1日 ~ 平成26年9月30日	
抽出案件	総件数 2件	議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の設定の経緯等審議 ○意見交換会
一般競争入札	1件	
条件付き 一般競争入札	2件	
通常指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p><b>【条件付き一般競争入札】</b> ○那智川災害復旧助成工事</p> <p>1. A委員 プレビーム工法を用いたから応札者が無かったということか。</p> <p>2. B委員 再公告する前の当初の公告時の入札参加可能業者は何者か。</p> <p>3. C委員 県内で応札可能な業者が38者ありながら、なぜ応札者がいなかったのか推測できるか。</p> <p>4. D委員 施工済みの箇所はいつ施工されたのか。</p> <p>5. D委員 旧橋は現在使用中なのか。</p>	<p>(発注機関：東牟婁振興局新宮建設部)</p> <p>1. 通常の橋桁は、受注者が工場で製作し現場で橋を架けることになるが、このプレビーム合成桁は、設計上、橋桁を製作している工場から橋桁を購入し現場で橋を架けるものであり、特にプレビーム工法であるからといって特殊だとは思わない。</p> <p>2. 県内38者である。</p> <p>3. 紀南中心に土木一式工事が多く発注されていたことや半年間技術者が拘束されることなど色々な要件が重なったと推測される。 また、和歌山市から遠いことも要因の一つと思われる。</p> <p>4. 橋梁下部工は前年度の平成25年に施工している。</p> <p>5. 現在も使用可能だが、今回の橋梁架設工事の後、河川拡幅工事があり、撤去する予定になっている。</p>
<p><b>【条件付き一般競争入札】</b> ○国道370号（新柳盛橋）交付金道路保全合併工事</p> <p>1. E委員 資料の中にひび割れ注入工が入っているが、今回の工事に含まれているのか。</p> <p>2. F委員 ランダム係数が高くなったことで、1者</p>	<p>(発注機関：海草振興局建設部海南工事事務所)</p> <p>1. 含まれる。</p> <p>2. ランダム係数の統計は特に取っていない。 ランダム係数は各業者の応札時間を元に自動的に</p>

<p>以外が最低制限価格未満で失格となったと思われるが、よくあることなのか。</p> <p>3. B委員 ランダム係数の最小値と最大値はいくらか。</p> <p>4. C委員 入札額が5千7百万円～5千2百万円の間でばらけておらず、1者だけ5千7百万円で他は5千2百万円にかたまっているのは不自然ではないのか。</p> <p>5. D委員 今回の工事は予定価格は公表されていないのか。</p>	<p>計算されており、今回たまたま高くなった。 【事務局回答】</p> <p>3. ±1.5%である。 【事務局回答】</p> <p>4. ランダム係数が1の場合、5千2百万円程度になるので、ほとんどの業者が1を基準に応札したと思われる。結果ランダム係数が高くなったので、最低制限価格未満となり失格となった。</p> <p>5. 公表されている。</p>
<p>【意見交換会】 下記について意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 公共工事動向について</li><li>2. 不調不落の状況について</li><li>3. 談合情報等についての対応</li></ol>	